

中國出土資料學會

2021年度第2回大会

日時：2021年12月4日（土）

研究報告 13:00～17:00

※ 大会終了後に総会を開催します

I 青銅器銘文重合辨偽法の理論と実践

報告者：崎川 隆（吉林大学考古学院古籍研究所教授）

II 漢墓に副葬した「情報伝達」の所作

報告者：上野 祥史

（国立歴史民俗博物館・准教授／総合研究大学院大学・准教授）

III 秦漢時代の「庶人」について-身分標識所持説の検証を中心に-

報告者：鷹取 祐司（立命館大学文学部教授）

zoom を利用したオンラインでの開催となります
参加希望者は下のリンクから事前登録をお願いいたします
登録受付期間：11月27日（土）まで

https://docs.google.com/forms/d/1z7XLb7jIzpnIPcZhjPZD7dIkkt56GIendc_HFQcdkc0/edit



☆ 参加申込者には、11月29日（月）以降に招待リンクと発表資料閲覧用のパスワードを事務局から送付いたします

☆ 参加費無料、非会員の来聴を歓迎します

連絡先（大会委員長）

〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1

流通経済大学法学部 富田 美智江

E-mail: tomita-michie@rku.ac.jp